

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 地理的分野 「教科（帝国書院）」

80時間（70%）

週	内容	小単元（節）	主な学習内容（項目）	時間数	留意点
第1部 世界のさまざまな地域					
第1章 世界の姿					
1	1, ア	4時間	①地球をながめて	1	※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。 ・③の学習で取り扱う。
			②いろいろな国の国名と位置	1	
			③緯度と経度	1	
			④地球儀と世界地図の違い	1	
			⑤緯度が違うと何が違う？	—	
第2章 世界各地の人々の生活と環境					
2	1, イ	5時間	①世界のさまざまな生活と環境	1	・①の学習と関連させ、各地域の自然環境、また、人々の生活の様子や暮らしを扱う。
			②暑い地域の暮らし	1	
			③乾燥した地域の暮らし	1	
			④温暖な地域の暮らし	1	
			⑤寒い地域の暮らし	1	
			⑥高地の暮らし	1	
			⑦世界各地の衣食住とその変化	1	
第3章 世界の諸地域					
3	1, ウ	序節	序節 世界の諸地域を学ぶにあたって	1	・序節の部分は導入で扱う。
			1. アジア州		
4		5時間	①アジア州の自然環境	1	・東南アジア諸国連合(ASEAN)、東南アジアの工業化、インドのICT関連産業の発展を扱う。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			②地域によって異なるアジアの農業や文化	1	
			③経済発展を急速に上げた中国	1	
			④自立の道を歩む東南アジア	1	
			⑤産業の発展が急速に進む南アジア	1	
			⑥資源が豊富な西アジア・中央アジア	1	
2. ヨーロッパ州					
5		4時間	①ヨーロッパ州の自然環境	1	・ヨーロッパ州の文化の特色と、EU統合の背景や地域の変化を合わせて扱う。 ・「ロシア」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			②ヨーロッパ文化の共通性と多様性	1	
			③ヨーロッパ統合と人々の生活の変化	1	
			④ヨーロッパの農業の今	1	
			⑤国境をこえて結びつくEUの工業	1	
3. アフリカ州					
6		3時間	①アフリカ州の自然環境	1	・アフリカの歴史(植民地支配)と、人々の生活の変化と自立を関係付け、まとめて扱う。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			②アフリカの文化と歴史	1	
			③アフリカの産業と経済を支える輸出品	1	
			④自立をめざすアフリカの国々	1	
4. 北アメリカ州					
7		4時間	①北アメリカ州の自然環境	1	・世界に影響を与える産業と世界に影響を与える文化とを関連付け、まとめて扱う。 ・資料として読む等の課題を出し、確認する。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			②移民の歴史と多様な民族構成	1	
			③大規模な農業と多様な農産物	1	
			④世界をリードする工業	1	
			⑤世界に広がるアメリカ合衆国の影響	1	
5. 南アメリカ州					
8		4時間	①南アメリカ州の自然環境	1	・進む開発と環境問題に注目して、地域的特色やそこで見られる地球的課題と地域的特色の関係を扱う。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			②多様な民族と人々の生活	1	
			③大規模化する農業と発展する工業	1	
			④ブラジルにみる環境問題	1	
6. オセアニア州					
		3時間	①オセアニア州の自然環境	1	・オセアニアの産業の特色及び、それらの産業とアジアとの結び付きとを関連付け、まとめて扱う。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			②移民の歴史と多文化社会への歩み	1	
			③海外と結びついたオセアニアの産業	1	
			④強まるアジアとの結びつき	1	
第4章 世界のさまざまな地域の調査					
9	2, ア	3時間	①調査テーマを決めよう	—	・地理的分野の最後に身近な地域の調査と統合し、実施するとよい。
			②資料を集めて調べよう		
			③調査結果をまとめよう		
			④調査結果を発表しよう		
第2部 日本のさまざまな地域					
第1章 日本の姿					
10	2, イ	6時間	①世界の中の日本の位置	1	・世界的な視野から見た日本の位置の特色、標準時と時差の仕組みを必ず扱う。 ・「日本の領域と領土問題」についての指導に当たっての内容の取扱いについては、新学習指導要領の規定による。 ・日本の輪郭・形状の特色、7地方区分を、地方名も含めて扱う。 ・都道府県や県庁所在地の名称と位置については、小学校での学習を生かす。
			②時差でとらえる日本の位置	1	
			③日本の領域と領土問題	1	
			④都道府県と県庁所在地	1	
			⑤さまざまな地域区分	1	
第2章 世界と比べた日本の地域的特色					
11		6時間	①世界の地形	1	・自然災害については、小学校の学習と重複する部分を考慮し、指導の精選を図る。 ・資料として読む等の課題を出し、確認する。
			②日本の山地・海岸と周辺の海	1	
			③日本の川と平野	1	
			地形図の使い方①、②、③	1	
			④日本の気候	1	
			⑤日本のさまざまな自然災害	1	
⑥自然災害に対する備え	1				
トライアル地理 ハザードマップを使ってみよう					

12	2, ウ	2. 人口の特色 1時間	①世界の人口の分布と変化 ②日本の人口の変化と特色	1	・世界の人口についての特色や課題、日本の過疎・過密地域の特色、人々の暮らしへの影響を扱う。	
		3. 資源や産業の特色 4時間	①世界の資源・エネルギー	1	・日本の工業については、小学校5年生の学習と重複する部分を考慮し、指導の精選を図る。	
			②日本の資源・エネルギーと電力	1		
			③日本の農業・林業・漁業とその変化	1		
④日本の工業とその変化	1					
4. 地域間の結びつきの特色 1時間	①世界と日本の交通・通信網	1				
13	2, ウ	第3章 日本の諸地域				
		序節	序節 日本の諸地域を学ぶにあたって	1	・序節の部分は導入で扱う。	
		1. 九州地方 4時間	①九州地方の自然環境	1	・自然環境を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。	
			②自然とともにある九州の人々の生活	1		
			③温暖な気候を生かした農業	2		
			④都市や工業の発展と自然環境			
			⑤南西諸島の自然環境と生活や産業	1		
		地域を探ろう 公害の経験を生かした環境保全への取り組み	家庭	・資料として読む等の課題を出し、確認する。		
		学習をふりかえろう 九州地方	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。		
		2. 中国・四国地方 4時間	①中国・四国地方の自然環境	1	・他地域との結びつきを中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。	
			②交通網の整備と人々の生活の変化	1		
			③海外と結びついた瀬戸内の工業	2		
			④全国展開を進める農業			
⑤観光客を呼び寄せる取り組み	1					
地域を探ろう 過疎地域での村おこしの取り組み	家庭	・資料として読む等の課題を出し、確認する。				
学習をふりかえろう 中国・四国地方	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。				
3. 近畿地方 4時間	①近畿地方の自然環境	1	・環境保全を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。			
	②琵琶湖の水を支える京阪神大都市圏	1				
	③臨海部の埋め立てと環境に配慮した工業	2				
	④古都奈良・京都と歴史的景観の保全					
	⑤環境に配慮した林業・漁業と保全活動	1				
地域を探ろう 伝統的な地場産業から先端技術産業まで	家庭	・資料として読む等の課題を出し、確認する。				
学習をふりかえろう 近畿地方	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。				
4. 中部地方 4時間	①中部地方の自然環境	1	・産業を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。			
	②輸送機械工業がさかんな東海	1				
	③交通網が発達した東海の農業	2				
	④内陸にある中央高地の産業の移り変わり					
	⑤雪どのかかりが深い北陸の産業	1				
地域を探ろう 交通網の整備による地域の変化	家庭	・資料として読む等の課題を出し、確認する。				
学習をふりかえろう 中部地方	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。				
5. 関東地方 5時間	①関東地方の自然環境	1	・首都・東京の機能と拡大する東京大都市圏とその課題について、関連付け、まとめて扱う。			
	②多くの人々が集まる首都、東京	1				
	③拡大する東京大都市圏	2				
	④人口の集中がもたらした産業					
	⑤臨海部から内陸部へ移りゆく工場	1				
⑥大都市周辺の農業と山間部の過疎問題	1					
地域を探ろう 多文化の共生をめざしたまちづくり	家庭	・資料として読む等の課題を出し、確認する。				
学習をふりかえろう 関東地方	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。				
6. 東北地方 4時間	①東北地方の自然環境	1	・生活・文化を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。			
	②寒い夏に対する稲作と畑作の努力	1				
	③果樹栽培の発展と生活に根づいた漁業	2				
	④伝統文化を生かした観光業の発展					
	⑤発展する工業と生活の変化	1				
地域を探ろう 地震への備えと復興に向けた取り組み	家庭	・資料として読む等の課題を出し、確認する。				
学習をふりかえろう 東北地方	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。				
7. 北海道地方 3時間	①北海道地方の自然環境	1	・歴史的背景を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。			
	②厳しい自然環境を克服した稲作の歴史	1				
	③大規模化してきた畑作や酪農、漁業	1				
	④歴史や北国の自然を生かした観光業					
	学習をふりかえろう 北海道地方	家庭		・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。		
トライアル地理 観光ルートマップをつくってみよう	家庭	・資料として読む等の課題を出し、確認する。				
21	2, エ	第4章 身近な地域の調査				
		①身近な地域の調査テーマを決めよう	1	・世界のさまざまな地域の調査の学習内容も扱い実施する。		
		②調べる方法を考えよう	1			
		③実際に調査をしてみよう	1			
		④資料を集めてさらに深めよう	1			
		⑤調査結果をまとめて発表しよう	1			
5時間						

※時間数の精選方法（例）

○小学校社会科の学習とのつながりを意識し、教育課程の見直しを図る。

小学校5年生の社会科において、我が国の国土の様子の学習をする中で、世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、地図や地球儀に関する内容を扱うため、中学校の生徒が学習をイメージしやすいという実態があり、時数を削減する場合は、Aの内容が比較的しやすい。この他の主な学習内容についても、指導者は、小学校での学習と重複する内容については、中学校の地理的分野ではじめて扱う学習内容と軽重を図り、基礎的・基本的な知識及び技能等を身に付けさせる時間を確保することが求められる。

○世界や日本の諸地域の学習は、自然環境等に関する内容は従来通りの時数をかけ実施する。

中学校地理的分野で扱う世界や日本の諸地域の自然環境に関する内容については、生徒たちに身に付けさせたい基礎・基本であり、一般的な教養ともなるため従来通りの指導時間を確保する。

○地域の調査の統合

新学習指導要領において、従来、位置付けられていた「世界の様々な地域調査」と「身近な地域の調査」は、「地域調査の手法」として統合された。令和2年度においても、これらを別々に実施することなく、まとめるなどして時数を確保する。

○教科書に掲載されている「学習をふりかえろう」「地域を探ろう」「トライアル地理」は、家庭学習の時間に位置付ける。

学校の授業では、基礎的・基本的な知識及び技能等の習得に重点を置き、本教科書にある「学習をふりかえろう」「地域を探ろう」「トライアル地理」については、基本的に家庭学習の時間に充て補充を図る。